

全員協議会

平成21年6月5日
国民健康保険特別会計につ
いて

平成21年度国保会計の当初予算の計上の重大な誤りがあったために、不足額1億738万6千円に対し補正を行うもので、一般会計より5、690万5千円を繰入、基金より3、500万円を取り崩し、国保税1、548万1千円を増額し歳入不足を6月議会 で補正するものです。

主な原因は制度改正等による見込み違いから、国庫支出金の療養給付金7、914万1千円、特別調整交付金1、601万7千円、他減額が発生し歳入不足となった。
一人当たり平均の今年度国保税は、対前年比で2万3300円増の9万3、929円となり、長引く不況の中で、更なる負担を願わなければならず町民の皆様には深くお詫び申し上げ、このようなことが二度と起こらないよう注

意し対策を取りたい。

また、近隣市町村では南魚沼市が10万1、352円、魚沼市は10万3、454円となつている。

主な質疑

Q：基金残高5千万円は療養給付費の1ヶ月に相当する金額から、重傷患者がでた場合の不測の事態への対応は

A：一般会計から繰り入れる以外に、財政サイドと相談し対応していきたい。

Q：繰出金の多さを指摘してきた経緯がある。歳入減には徴収率の関係から調整交付金の減額ペナルティが含まれているのではないか。

A：徴収率を上げるよう国、県からの指導を受けており、厳しい現状下にある。また、調整交付金にペナルティを受けている。

Q：それぞれのセクションで

チェックしておかしいとは思わなかったのか。

A：当初予算の段階でデータが揃わない状況にあったが、県に確認するとかの方法をとらなかった。結果的にはある意味、甘い積算であった。問題となった要因を現場サイドからも検証し、是正したい。

平成21年6月12日

1 町税徴収嘱託員について

税の徴収対策強化で6月1日より町内の徴収嘱託員を1名増員し3名体制とした。4月1日に東京事務所2名を3名に、町内嘱託員を2名から3名に体制強化した。

2 中学生の海外交流事業

について

マグナより7月11日から18日の日程で東京周辺と京都見学を予定して来日するとの連絡が届いた。湯沢町が新型インフルエンザ対策本部を設置している現状、発生への懸念、影響が心配されることから理解を頂き、今年度の

交流事業については中止とした。

ソルトトレイク郡長への手紙を出させて頂いている。また、来日している子供たちに歓迎の気持ちを伝えるべく対応を考えていきたい。

平成21年8月27日

1 文教施設整備検討会の

答申について

学校、保育所施設の耐震状況の現状、課題の整理、職員からの意見聴取、少子化対策特別委員会からの申し入れ等を検討し、少子化が進む中にある町の教育・保育環境の将来への考え、行動計画、検討委員会の委員構成についての概略が示された。

主な質疑・意見

Q：当初、案では認定こども園を設置しない理由が掲げられているが、どんな理由から設置を検討することに変わったのか。

A：保育の多様化するニーズへの対応や認定こども園が補助対象となることなど、

将来を見据えての考えから見直した。

Q：説明会に臨み、町民からの意見を聞く場を具体的に何時から始めるのか。

A：議会終了後の9月末から10月上旬には保護者、地域説明会を日程を設けて開催したい。

Q：小中学校の統合には理解されても、保育園の統合に反対された場合の対応は。

A：保育の現状を説明しながら意見を聞いていきたい。

2 後期高齢者医療制度の

報告について

8月25日に開催された後期高齢者医療広域連合議会での報告書に基づき説明を受けた。

・共通事務経費の湯沢町分担金は626万円で1人あたり720円となった。

・療養給付費の湯沢町支出金は6、238万円で1人あたり49万6、238円(県下最低額)となった。

・保険料の滞納状況は滞納率3・09%で県町村部では最悪となっている。